

読み方が同じ漢字 ③

一次の――を（ ）に漢字で書きなさい。（送り仮名も書きましよう。）

① 雲の間に太陽があらわれる。 （ ）

彼の考えがよくあらわれた文章だ。 （ ）

② 家でねこをかう。 （ ）

遠足のおやつをかう。 （ ）

③ 国語の問題にこたえる。 （ ）

手をふって声えんにこたえる。 （ ）

二次の文の「――」から、正しいほうの漢字をえらんで、（ ）に記号を書きなさい。

① 北海道で「ア野性 イ野性」の鹿を見た。 （ ）

② 陽の光が部屋に「ア差す イ指す」。 （ ）

こたえ

一次の――を（ ）に漢字で書きなさい。（送り仮名も書きましよう。）

① 雲の間に太陽があらわれる。 （現れる）

彼の考えがよくあらわれた文章だ。 （表れた）

② 家でねこをかう。 （飼う）

遠足のおやつをかう。 （買う）

③ 国語の問題にこたえる。 （答える）

手をふって声えんにこたえる。 （応える）

二次の文の「――」から、正しいほうの漢字をえらんで、「――」に記号を書きなさい。

① 北海道で「ア野生」イ野性」の鹿を見た。 （ア）

② 陽の光が部屋に「ア差す」イ指す」。 （ア）